

路線バス(乗合バス)運賃の上限変更認可申請について 江ノ電バス 横浜市内均一区間(京浜ブロック)

株式会社江ノ電バス（本社：神奈川県藤沢市、社長：小山幸一）は、本日 2026 年 10 月 27 日（火）付で国土交通省関東運輸局長宛に一般乗合旅客自動車運送事業の運賃（横浜市内均一区間）の上限変更認可申請をいたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

1. 申請理由

公共交通事業者として安全安心な輸送サービスを持続的に提供するためには、上限運賃の改定が必要であると判断し、横浜市内均一区間（京浜ブロック）の運賃について上限変更認可申請いたしました。

当該区間の乗合バス運賃は、最後に運賃改定を行った 1997 年以来、約 30 年にわたり変更しておりませんでした（消費税率転嫁改定を除く）。しかしながら、燃料価格をはじめとした運送コストに直結する物価上昇や、新型コロナウイルス感染症の拡大により停止していた車両更新の再開に伴う設備投資の増加、さらに既存バス路線の維持・改善を目的とした賃金をはじめとする待遇改善や採用活動強化など、事業運営に要する費用が年々増大していることを踏まえ、この度の判断に至りました。

2. 申請内容

- 申請日：2026 年 10 月 27 日（火）
- 運賃改定実施予定日：2027 年 4 月（国土交通省関東運輸局認可後決定）
- 申請内容：横浜市内均一区間（京浜ブロック）の運賃の上限変更認可申請
- 上限の平均改定率：20.21%

普通旅客運賃 (横浜市内)	現行運賃		申請上限運賃※1		実施運賃（予定）※2	
	現金	IC	現金	IC	現金	IC
大人	220 円	220 円	280 円	280 円	250 円	250 円
小児	110 円	110 円	140 円	140 円	130 円	125 円

※1…事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額

※2…認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様から収受する運賃額。

表中の実施運賃は申請時点の予定金額につき、認可後改めて発表

- 現行・申請運賃比較（横浜市内均一区間〔京浜ブロック〕）

定期旅客運賃		現行運賃	申請上限運賃※1	実施運賃（予定）※2
通勤	1 ヶ月	9,850 円	12,600 円	11,190 円
	3 ヶ月	28,070 円	35,910 円	31,890 円
	6 ヶ月	53,190 円	68,040 円	60,430 円
通学	1 ヶ月	7,260 円	9,910 円	8,250 円
	3 ヶ月	20,690 円	28,240 円	23,510 円
	6 ヶ月	39,200 円	53,510 円	44,550 円
通学 (小児)	1 ヶ月	2,000 円	2,000 円	2,000 円
	3 ヶ月	5,700 円	5,700 円	5,700 円
	6 ヶ月	10,800 円	10,800 円	10,800 円

3. 収支状況および輸送人員（横浜市内均一区間（京浜ブロック））

		輸送人員	収支状況
2024 年度 実績年度		9,719 千人	25,941 千円
2027 年度 平年度推計	改定前	9,602 千人	△364,939 千円
	改定後※4	9,326 千人	△116,350 千円

※4 2027 年度運賃改定後の輸送人員、収支状況は申請上限運賃での推定値

4. これまでの経営改善と今後の取り組み

江ノ島電鉄株式会社のバス事業を子会社 2 社（旧・江ノ電バス横浜、旧・江ノ電バス藤沢）に事業譲渡し、人件費の圧縮や営業所の集約によるコスト削減を進めたほか、2019 年度には上記子会社 2 社を統合して株式会社江ノ電バスを設立し、不採算路線の再編やダイヤ改正、アイドリングストップによる燃料費削減、車両使用年数の延長等による経費削減など、効率的な経営改善に努めてまいりました。近年では、バス運転士不足に対応するため待遇改善にも取り組んでおります。

今後も、お客様のご利用状況に応じた運行ダイヤの見直しや路線再編などによる効率化、DX 化による業務の効率化などを進め、安全安心な輸送サービスと従業員が働きやすい環境を整備し、持続可能な事業経営を推進してまいります。

5. 安全対策への取り組み

弊社作成・公表の「安全報告書」内「輸送の安全の確保」に準じ、バス運転士が急病などで運転操作の継続が困難になった場合に備え、ドライバー異常時対応システムや運転中の運転士の状態をモニタリングする「ドライバーステータスマニター」を搭載したバスを順次導入しております。また、ドライブレコーダーを活用した運転士の安全教育や、研修センター（2019 年設立）において講師による添乗指導や訓練車両を活用した教習を行い、安全運転技術の向上に努めております。

運転士の健康管理におきましても、睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査や脳 MRI 検診、心臓ドックの定期的な検査などを実施し、健康起因事故を未然に防ぐ取り組み継続的に行うことで、安全安心な輸送サービスの提供に努めております。

6. サービス向上・環境面への取り組み

2026 年 3 月 31 日（火）より、「ちびっこ 50 円」サービスの提供を開始し、小児用 IC カードのご利用の場合の運賃を全日一律 50 円といたしました。また同日には、70 歳以上の方を対象とした「オレンジ定期」の発売を開始、これまでの 1 乗車 100 円の現金収受から IC カードを活用したフリーパス化へ移行し、旅客サービス・利便性の向上を図っております。

さらに、「小田急グループ カーボンニュートラル 2050」に基づき、脱炭素社会の実現に貢献するとともに、地域や環境にやさしい公共交通機関を目指して EV バスを導入、2024 年 3 月下旬より路線運行しております。

引き続き、カーボンニュートラルに向けて EV バスなどの低環境負荷車両の導入を促進するほか、ノンステップバスの拡充やキャッシュレスに向けた取組みの検討など、社会的な課題への対応と旅客サービスの向上に取り組んでまいります。

◆「ちびっこ 50 円」詳細（江ノ島電鉄株式会社ウェブサイト）

<https://www.enoden.co.jp/tourism/ticket/kids-50yen/>

◆「オレンジ定期」詳細（江ノ島電鉄株式会社ウェブサイト）

<https://www.enoden.co.jp/tourism/ticket/orange-pass/>